

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設 の 名 称	仙台塩釜港仙台港区港湾環境整備施設
指 定 管 理 者 の 名 称	株式会社東北ダイケン
施 設 所 管 部 課 (室)	土木部港湾課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成21年4月 ~ 平成24年3月	指定管理者	社団法人宮城県建設センター	
平成24年4月 ~ 平成26年3月	直営		
平成26年4月 ~ 平成29年3月	指定管理者	株式会社東北ダイケン	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	株式会社東北ダイケン
	所在地	仙台市青葉区一番町3丁目6-1 一番町平和ビル6階
指 定 期 間	平成26年4月1日 ~ 平成29年3月31日 (3か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	仙台塩釜港仙台港区港湾環境整備施設	
所 在 地	仙台市宮城野区港2丁目地内	
設 置 年 月	昭和63年8月暫定供用開始, 平成4年4月全面供用開始	
根 拠 条 例 等	港湾施設等管理条例	
設 置 目 的	貨物の取扱等事業活動が行われる仙台港内の環境を快適にし, 港湾利用者や県民等に散策や休養, レクリエーションなど海や港とのふれあいの場を提供するとともに, 港湾に対する親しみやその活動に対する理解の増進を図る	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	100, 809㎡
	構 造	①仙台港中央公園:91, 000㎡, ②仙台港リバーウォーク:9, 809㎡
施 設 の 内 容	内 容	①管理棟, 野球場, テニスコート, 展望台, 海の広場, 多目的広場, 駐車場, 屋外トイレ(3棟), その他 ②緑地帯, その他
	開 館 (所) 日	開園日:原則として通年(有料公園施設は12月29日から1月3日まで休業)
開 館 (所) 時 間	①管理棟:午前8時30分~午後5時15分, ②有料公園施設:午前7時~午後6時(11月~3月は午後5時)	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	<ul style="list-style-type: none"> ・有料公園施設(野球場及びテニスコート)の使用許可に関する業務 ・維持管理に関する業務 ・その他, 知事が別に定める業務 	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	有料公園施設利用料(野球場及びテニスコート)

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	366 日	365 日	366 日	100.0%	100.3%
延べ利用者数	100,000 人	76,942 人	117,705 人	117.7%	153.0%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
一般来園者	92,000 人	71,540 人	109,281 人	118.8%	152.8%
有料施設利用者	8,000 人	5,402 人	8,424 人	105.3%	155.9%
	人	人	人		
	人	人	人		
	人	人	人		
合 計	100,000 人	76,942 人	117,705 人	117.7%	153.0%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	11,923	10,721	11,923	100.0%	111.2%
利用料金収入	1,545	1,322	2,897	187.5%	219.1%
その他					
収入計 (a)	13,468	12,043	14,820	110.0%	123.1%

(2) 支出

人件費	9,950	7,575	9,050	91.0%	119.5%
施設管理費	4,018	3,448	5,915	147.2%	171.5%
事業運営費					
その他					
支出計 (b)	13,968	11,023	14,965	107.1%	135.8%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	-500	1,020	-145	29.0%	-14.2%
前期繰越収支差額	1,020	0	1,020	100.0%	-
次期繰越収支差額	520	1,020	875	168.3%	85.8%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

自主事業収入	500	736	939	187.8%	127.6%
自主事業支出			490		
収 支	500	736	449	89.8%	61.0%

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
	正規	非正規		評価		評価	
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定書、仕様書、事業計画書に基づき、植栽、施設、清掃、利用の管理を実施する為、適正な体制で実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 現場責任者1名、職員3名を配置し、本部担当者1名、本部責任者1名が統括及びサポート支援に回り、適正な体制で管理運営を行った。 現場の業務遂行に対し、本部が客観的な視点からの助言を行うことで、業務の質の向上を図りながらの管理運営体制とすることができた。 		S	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画どおり適切な体制で実施されたと認められる。 指定管理者内での現場・本部間の連携が適切に機能し、県との意思疎通も適切に働いていた。 	A
人員体制	正規	6人	非正規	0人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> 園内の巡回点検を計画通り実施し、点検時の不具合箇所については、早急に修繕対応するなど施設の維持管理に努めた。 		<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化による破損や、排水不良の発生を早期に対応し、来園者への影響を最小限にとどめることができた。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画どおり適切な管理が行われたと認められる。 不良が発生した施設の早期対応や報告も適切に行われていた。 	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定書、仕様書、事業計画書に基づき、植栽、施設、清掃、利用の管理を適正に行った。 公園の設置目的を達成する為、効果的、効率的な運営に努めた。 利用者の公平・平等な利用の確保に努め、利用者からの問合せ等に対しては誠意を持って対応する等、透明性の確保に努めた。 		<ul style="list-style-type: none"> 効果的、効率的に管理運営を行い、利用者へのサービス向上に努めた結果、利用者からの評価を受け終了した。 		S	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画どおり適切に実施されていたと認められる。 パンフレットやホームページ等を活用し、施設のPRに努めている。 利用者アンケートも高評価であった。 	A
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> カップ式自動販売機を1台設置した。 クリスマスリース作り体験会を実施した。 テニス教室を開催した。 		<ul style="list-style-type: none"> 自動販売機の設置により利用者の利便性の向上に寄与した。 一般来園者向け体験型企画が好評であった。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 自販機の新規設置等は利用者の利便性向上に寄与していると認められる。 体験型企画について、利用者アンケートでも好評であり、評価できるものである。 収入実績についても、計画及び昨年度実績を上回っている。 	S
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> テニスコート混雑時の終了予定時刻のアナウンス実施。 合成音声によるマナー、閉園アナウンスの実施。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者同士のトラブル防止、快適な公園環境作りを行った。 		S	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画どおり適切に実施されていたと認められる。 合成音声による園内アナウンスの実施など、発声者に依存しない聞き取りやすい園内放送環境の取組に挑戦している。 	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> 利用者へのアンケートを四半期ごとに実施。苦情・要望には可能な範囲で即、実行に移し、対応した。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートの内容について検討し、苦情・要望について可能な限り改善を行い、利用者の声を反映した施設づくりを行った。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 適切に利用者アンケートを実施しており、利用者の苦情・要望を把握し、可能な範囲内で業務に反映させていると認められる。 	A
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 施設の巡回点検を職員が毎日2回行い、施設の異常及び危険箇所を早期に発見し、職員で対応可能な小修繕は即座に対応した。又、専門業者でなければできないものは業者に依頼する等適切な対応に努めた。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全対策を重要視し、施設点検及び事故防止対策を徹底した。 避難訓練を実施した。 27年度は津波被害を想定し、昨年の避難場所(キンピール工場)を変更、仙石線中野栄駅までの避難時間等を確認した。 		S	<ul style="list-style-type: none"> 事故及び自然災害発生時の対応マニュアルを整備しており、避難訓練を実施している。 避難訓練については、昨年度を上回る想定としており、評価できるものである。 園内の危険箇所の除去及び注意喚起にも努めている。 	S
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の公平・平等な利用の確保に努め、利用者からの問合せ等に対しては誠意を持って対応した。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者からの公平性に係る苦情等は発生しなかった。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画どおり適切に実施されていたと認められる。 野球場利用希望が重なった場合に抽選を行う等し、県民の平等利用を図るよう努めている。 	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	県の評価 【施設所管課記入】	
			評価	評価
⑨個人情報の保護	・個人情報保護基準に則り、個人情報の取り扱いを行った。	・個人情報の漏洩は発生しなかった。	S	A
⑩利用実績	・上記「4. 施設利用実績」のとおり。	・計画比117%、前年比153%の117,700人の実績とすることができた。 園内の緑地管理も震災前の状態まで復旧することができたのも要因である。 有料施設の利用者も回復傾向にある。	S	S
⑪収支実績	・上記「5. 管理運営収支実績」のとおり。	・自販機用電気代が1年目分も遡及され490,000円計上した。 ・運動施設整備においても外野芝、内野グラウンドの状態が悪く支出超過になった。 ・県指定管理料と利用料金収入で管理運営を行うことができた。	A	A
⑫その他の取組	・廃棄物の分別等を徹底し、適正な処理を行った。 ・また、ゴミの不法投棄に関する協力を呼びかける看板を設置した。	・省エネルギー・温室効果ガス排出抑制対策を実施し地球環境保全への貢献に寄与した。釣り客が震災前のレベルまで回復しており、ゴミの不法投棄等も増加傾向にある為、園内の環境美化への意識をさらに高めたい。	A	S
総合評価		・公園環境の整備も整い、認知度も高まってきたことから、利用者数の回復ができた。特にテニスコート利用者が震災前の利用件数にまで回復しており、管理運営が順調に進んだ結果と評価する。	S	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズにあった自主事業の展開 ・排水設備など老朽化施設に対する対応 ・混雑期における土日祝日の有料施設利用者の駐車場確保 ・土日祝日の大型駐車場と団体利用不可の状況 	<p>利用者ニーズに沿った自主事業を展開することで施設のPRIに繋げ、有料公園施設の利用促進を図っていただきたい。 施設の老朽化への対応については、引き続き県とも連携しながら、随時必要な措置をとっていただきたい。 繁忙日においては有料公園施設利用者の駐車場確保や団体利用の状況が課題となっているが、引き続き予約状況等を参考に有料公園施設利用者の駐車場確保に努めていただきたい。</p>